

植物関連雑誌のタイトル紹介

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード: 作成者: 中田, 政司 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/48546

植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物自然史関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学文化センター、富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集部までお送り下さい。)

○ 知床博物館研究報告 第23集 2002年3月

(〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49 斜里町立知床博物館)

丹羽真一：アツケシソウ個体群における生育環境と構造特性の関係(7-14) / 丹羽真一・内田暁友：知床半島におけるバシクルモンの生育環境と個体群構造(15-20)

○ 青森県立郷土館調査研究年報 第27号 2003年3月

(〒030-0802 青森県青森市本町2丁目8-14 青森県立郷土館)

柿崎敬一・高谷泰三郎・齋藤信夫・小林範士・太田正文：小川原湖周辺の植物(3)(51-56) / 太田正文：文献に基づく青森県産タイ類・ツノゴケ類チェックリスト(79-92) / 太田正文・桜庭鉄男・伊藤進：青森県立郷土館で鑑定した大型菌類(93-106) / 太田正文：青森県立郷土館所蔵コケ植物標本(1) 福田均氏採集弘前市子供の森久渡寺山における蘚苔類(107-114)

○ 秋田自然史研究

(〒010-0873 秋田市千秋城下町8-18 田中政行方 秋田自然史研究会)

第45号 2002年11月—高田順：秋田県フロラ資料(15)(4-7) / 沖田貞敏：秋田県植物分布資料(4)(10-11) / 梅田市美・小松朗：秋田県新産の帰化植物 ハナヤエムグラ(11) / 菊地卓弥：秋田県新産の帰化植物2種(12-13) / 梅田市美：能代市における海草アマモの記録(13) / 梅田市美・小松朗：クスマツメクサを能代市で発見(20)

第46号 2003年2月—高橋祥祐：秋田県象潟町元滝付近の蘚苔類(1-3) / 高橋祥祐：*Cololejeunea ornata* A.Evans ヤマナカヨウジョウゴケの新産地(3) / 高田順：秋田県におけるホシクサ属植物の問題点(4)—クロイヌノヒゲモドキとタカユイヌノヒゲ(6-11) / 沖田貞敏：秋田県植物分布資料(5)(16-17)

○ 食虫植物研究会々誌

(〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 日本歯科大学生物学教室内 食虫植物研究会)

第53巻第3,4号(通巻第181号) 2002年10月—外山雅寛：北日本における水生タヌキモ類自生地に出現する種ごとの組み合わせとイヌタヌキモに関する新知見(第1報)(56-61) / 外山雅寛：マンシュウタヌキモばなし(61-62) / 外山雅寛：水生タヌキモ類とミズグモ(62-66) / 若林浩：オーストラリアの食虫植物 西オーストラリア&ノーザンテリトリー(67-72) / 柴田千晶：2002年サハリン調査旅行(72-78) / 富田裕明：サハリン食虫植物観察の旅に参加して(78-84) / 宮本誠：近畿地方のイシモチソウ自生地と現状(84) / 内藤弘昭：ナガバノイシモチソウの栽培について(84-85) / 袖川芳之：サラセニア・ルブラの亜種について(85-88)

第54巻第1号(通巻第182号) 2003年1月—長谷部光泰：モウセンゴケ科およびモウセンゴケ属の系統関係(第4回国際食虫植物会議日本大会基調講演)(1-9) / 三尾和久：キナバル周辺のネペンテス自生地調査(12-15) / 田中三：西オーストラリアの食虫植物(15-16) / 柴田千晶：2002年9月西オーストラリアの食虫植物調査(16-21) / 松下博彦：黒沢湿原の食虫植物(21-22) / 笈田一子・亀山慶晃・植松茂・外山雅寛・小宮定志：2002年北海道食虫植物調査報告(22-26) / 外山雅寛：HB-101による *Pinguicula gigantea* の高速度増殖法(26-28) / 片桐義昭：ムジナモについて(28-31) / 三野善弘：ダバオのネペンテス(32-33)

○ 神奈川県立博物館研究報告 自然科学第32号 2003年3月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

勝山輝男：カヤツリグサ科スゲ属の3種の日本新産帰化植物(1-6) / 田中徳久：標本データを使った神奈川県の111個の地域メッシュによる植物地理(7-22) / 木場英久・松本雅人：イネ科の日本新産帰化植物、ズングリオヒシバ(69-70)

○ FLORA KANAGAWA

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 県立博物館内 神奈川県植物誌調査会)

No.52 2002 年 5 月—勝山輝男：神奈川県のカリノイガ属植物 (636-637) / 埜村恵美子・和田良子・菊池真知子・野津信子：アフリカヒゲシバ (637) / 勝山輝男：明治末の横浜にオオクグがあった (637) / 勝山輝男：芦ノ湖西岸のニコゲヌカキビはホオキヌカキビである (638) / 田村 淳：横浜のカラクサイヌワラビ (638-639) / 浜口哲一：二つ葉のヒトツバテンナンショウ (639) / 金子紀子：ツメクサダマシ, 63 年ぶりに再出現 (640) / 田中徳久：神奈川県新産の帰化植物—シバツメクサ— (640) / 浜口哲一：カナムグラの逆刺 (641)

No.53 2003 年 3 月—金子紀子：結実したヤブカラシ (644) / 三輪徳子：未熟に終わった? ヤブカラシ (644) / 浜口哲一：ヤブカラシの不思議 (644-645) / 城川四郎：トリカブト類の雑種について (訂正と和名の提唱) (645) / 佐々木シゲ子：ヤマヒロハイヌワラビなど (645-646) / 佐藤恭子：イトアゼガヤ (646) / 木場英久：防鹿柵内に見られるイネ科植物 (646-647) / 堀内 洋：神奈川県に關係する帰化植物数種 (647-651) / 勝山輝男：新治のシュユ (イヌゴシュユ) (651-652) / 浜口哲一：平塚海岸にグンバイヒルガオ (652) / 佐々木あや子：神奈川県新産の帰化植物フウセンツメクサ (652-654) / 浜口哲一・佐藤恭子：2002 年花ごよみ調査の結果について (654-659)

○ 自然環境科学研究 第 15 巻 2002 年 12 月

(〒220-0102 神奈川県津久井郡城山町原宿 5-15-6 (財) 平岡環境科学研究所)

門田裕一：アジア産トリカブト属 (キンボウゲ科) の分類学的研究 IX. *Aconitum polycarpum* Chang ex W. T. Wang と *A. heterophyllum* Wall. ex Royle の關係 (英文) (1-7) / 沖津 進：大雪山上部に分布する植物群落と極東ロシアの植物群落との植物地理学的關係 (英文) (25-35) / 田中敦司・立石幸敏・木村全邦・芦田喜治・林 正典・西村直樹：甲佐岳 (熊本県) の蕨類 (59-69) / 若井慎一：平塚市の樹幹着生コケとその環境 (71-87) / 近田文弘・清塚和子・歌川道子：多摩市の帰化植物 (89-100) / 佐藤靖夫・山田耕作：山形県産のタイ類とツノゴケ類チェックリスト (101-111) / 山田耕作：愛知県産のタイ類とツノゴケ類チェックリスト (113-121)

○ 岐阜県植物研究会誌 第 18 巻 2002 年 12 月

(〒501-1193 岐阜市柳戸 岐阜大学教育部生物学教室植物分類研究室内 岐阜県植物研究会)

井上好章：標本の神様, 長瀬秀雄氏を偲んで 長瀬秀雄氏植物標本目録一覽 (ガマ科~イネ科) (5-28) / 野村勝重：シデコブシの花器官における数量的変異 (29-36) / 村瀬正成：岐阜県博物館に 1 点のみ収蔵されているシダ植物標本 (37-41) / 高野裕行：ミヤマワレモコウ *Sanguisorba longifolia* Bertol. の岐阜県における分布について (42-48) / 高橋 弘：岐阜県にみられるギボウシ属の検討 (49-60)

○ 長野県自然保護研究所紀要 第 6 巻 2003 年 3 月

(〒381-0075 長野市北郷 2054-120 長野県自然保護研究所)

藤原陸夫・中村恭子・横澤邦子：千曲川中流域の河辺植生—現状と保全— (1-22) / 大塚孝一：長野県北部鍋倉山におけるナベクラザゼンソウの生育環境 (23-28) / 大塚孝一・北野 聡：野ネズミによるザゼンソウ属 3 種の果実及び花序の補食 (29-34) / 尾関雅章・大塚孝一・浜田 崇：長野市飯綱高原のカラマツ人工林の森林構造 (45-48)

○ 富山市科学文化センター研究報告 第 26 号 2003 年 3 月

(〒939-8084 富山市西中野町 1-8-31 富山市科学文化センター)

根来 尚：富山県山地帯におけるハナバチ相の生態的調査 (51-71) / 根来 尚：立山高山帯における訪花昆虫調査への追加 (73-101) / 佐藤 卓：富山県大山町瀬戸蔵山ブナ林の実生とリター量的変化 (117-122)

○ 富山県中央植物園研究報告 第 8 号 2003 年 3 月

(〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田 42 富山県中央植物園)

中田政司・菅 開雲・神戸敏成・魯 元学・李 景秀：中国産シュウカイドウ属 (シュウカイドウ科) の細胞学的研究 I. 2001 年雲南省野外調査で採集されたシュウカイドウ属 17 タクサの染色体数 (英文) (1-16) / 沢

之向 隆・橋屋 誠・鳴橋直弘：日本産タツナミソウ属の果実の表面形態 (17-23) / 高橋一臣：ミクラザサの葉の表皮微細構造 (予報) (25-30) / 中田政司・王 仲朗・管 開雲：雲南省産植物に関する細胞学的知見 I. 雲南省初記録の腐生ラン、ヒメノヤガラ (英文) (31-35) / 山下寿之：ハナガガシ *Quercus hondae* Makino の堅果の発芽半年生実生の成長 (37-44) / 兼本 正：ウワバミソウは雌雄同株である (45-48) / 神戸敏成・魯 元学・管 開雲：中国雲南省における海棠花 (*Ottelia acuminata* (Gagnep.) Dandy) の自生地調査 (49-54) / 大原隆明・中田政司・高木末吉：富山県フロラ資料 (7) (55-69) / 橋屋 誠：富山県高等菌類資料 (1) (71-77)

○ 富山の生物 第 42 号 2003 年 3 月

(〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学教育学部生物学研究室 富山県生物学会)

長井真隆：立山ルートにおけるマツ科樹木の結実変動 (1-5) / 佐藤 卓：2002 年全国ブナ結実状況 (7-12) / 佐藤 卓：魚津市平沢沌滝のトチノキ林におけるリターフォールの経年変化 (13-16) / 中川定一：氷見市国見のオオイヌノハナヒゲとエゾリンドウ生育地の概要 (81-83)

○ 石川県白山自然保護センター研究報告 第 29 集 2002 年 12 月

(〒920-2326 石川県石川郡吉野谷村木滑ヌ 4 石川県白山自然保護センター)

野上達也：白山高山帯・亜高山帯における低地性植物の分布について (2) (1-6)

○ 河北潟総合研究 第 6 巻 2003 年 3 月

(〒920-0267 石川県河北郡内灘町字大清台 302 NPO 法人河北潟湖沼研究所)

高橋 久・永坂正夫・白井伸和・川原奈苗：河北潟西部承水路の水生植物の現状-在来種の衰退とホテイアオイ *Eichhornia crassipes* の大繁殖について (27-39)

○ 富士竹類植物園報告 第 46 号 2002 年 8 月

(〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色 885 日本竹笹の会)

村松幹夫：日本産タケ連植物の属間交雑親和性と生物学的種概念 (3-14) / 片山 久：オカヤマトラフダケの現状 (15-24) / 濱田 甫：鹿児島県産竹類の新知見 (18) (72-78) / 松本重幸：ミヤマザザ、ケスズ、及びカンチクの実生観察について (96-100) / 濱田 甫：中国安徽省蕪湖市への竹の旅 (115-120) / 濱田甫：中国竹博物館を訪問して (121-125) / 濱田 甫：韓国の竹郷潭陽への竹の旅 (126-130)

○ 豊橋市自然史博物館研究報告 第 12 号 2002 年 3 月

(〒441-3147 愛知県豊橋市大岩町字大穴 1-238 豊橋市自然史博物館)

藤原直子・木村妙子・藤岡エリ子：三河湾汐川干潟の塩性湿地植生 (41-48)

○ ため池の自然 第 36 号 2002 年 12 月

(〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町岩作 愛知医科大学医学部寄生虫学教室 近藤繁生方 ため池の自然研究会)

中 優：三重県多気町のため池における水草と淡水貝類 (5-8) / 中村憲男：茨城県とその近隣のため池調査 (第 1 報) (16-22)

○ みねはな 第 50 記念号 2003 年 4 月

(〒603-8112 京都市北区小山元町 44 吉川直人方 みねはな会)

村田 源：みねはな 50 周年記念講演要旨「日本海側の一部に特異な分布を持つ植物」(51-52) / 片山泰雄：石立山と植物相 (53-59) / 日原誠介：日本レッドデータプランツ繁殖記 (6) - 海岸の植物 - (60-63) / 神野一郎：ツノアイアシ (64-70) / 原野谷朋司：此处 10 年間の山草栽培技術 (16-18) / 井上康彦：シダ雑誌 (75-76) / 藪田久雄：サクラソウの栽培の歴史について (77-79) / 神園英彦：カジノキと文化 (80-81) / 橋本 薫：小豆島霊場の桜 (82-91) / 森田吉重：キタダケソウ (92-93) / 高橋 亮：堤防の花 (94-95) / 西口紀雄：お茶の花 (96-98) / 岡島一允：屋根草について (99-100) / 山本明弘：ブナの森の下で (101) / 斎木保久：メキシコの古い花旅 (102-109) / 吉年祐一：キプロス島・花紀行 (110-118) / 久志博信：カ

ムチャツカ半島の花旅 (119-121) / 森 和男: 『誰がスーリエを殺したか』 (122-203)

○ 京都植物 第26巻

(京都植物同好会 幹事: 〒606-0026 京都市左京区岩倉長谷町 486 1F 1-3 田中 徹)

第1号 2002年1月—村田 源: 京都府立植物園に残された竹内敬先生の標本の再検討 15 (4-7) / 村田源: 京都府下のコタヌキモ再検 (7-8) / 津軽俊介: カワリバハマゴウの正体 (8-10) / 土井 憲: 御苑のユキノシタ科ウツギ属交雑種について (10-12) / 湯川幸子: 木津川のウマノスズクサ (12-14) / 西沢信一: 竹富島へ (14-15) / 川辺龍太郎: 釜座のシダレヤナギはなぜケヤキに代わったか (16-17) / 田中 徹: 宝ヶ池公園に発生するネコ死体探知菌 (17-18)

第2号 2002年4月—村田 源: 京都府立植物園に残された竹内敬先生の標本の再検討 16 (5-8) / 村田源・津軽俊介: 京都府稀産植物の記録 3 (8-12) / 前田 徹: 宇治市二尾勢ノ谷地区の聴き取り調査 (12-16) / 田中 徹: シロネの“植物行動学” (19-20)

第3号 2002年9月—村田 源: モメンツルの記 (6) / 村田 源: 京都府立植物園に残された竹内敬先生の標本の再検討 17 (7-11) / 村田 源・津軽俊介: 京都府新産植物 14 (11-12) / 小柳道子: [京都の植物方言調査] 京都市左京区鞍馬における聞き書き (13-17) / 西沢真一: 沖縄本島南部へ (17-18) / 上島裕: 亀岡市中吉田のオグラコウホネは絶滅していた (18-19) / 田中 徹: 季節はずれのワラビ採り (19-20)

第4号 2003年1月—光田重幸: 京都府レッドデータ・ブックに記録した新シダクコウライヌワラビモドキ (絶滅寸前種) (6-10) / 金辻佳子: ヒカゲノカズラのこと (10-13) / 小柳道子: [京都の植物方言調査] 左京区大原尾越における聞き書き (13-17) / 光田重幸: キクガラクサの新産地 (17-18) / 光田重幸: ナチシケンダ 京都府新産 (18-19) / 川辺龍太郎: 消えたシノブノキ (19) / 田中 徹: 鴨川の植栽ケテイカズラとフトイ (19-20)

第5号 2003年4月—村田 源: クロミノニシゴリ (5-6) / 津軽俊介: ヤマネコヤナギ, 亀岡市に自生す (6-8) / 村田 源・津軽俊介: 京都府新産植物 15 (8-10) / 富川惇志: 丹後久美浜の植物の方言 (10-12) / 田中 徹: 比叡山麓のオオカナメモチ (13-14)

○ 南紀生物 第44巻第2号 2002年12月

(〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 522-2 乾風 登方 南紀生物同好会)

村田 源・山本修平: ハイキビ (イネ科) を和歌山県に記録する (123-124) / 山本修平: 和歌山県におけるイワタイゲキ (トウタイゲサ科) の分布 (151-152) / 木下慶二: 淀川の中流域におけるヤナギ属について (167-172)

○ くろしお No.21 (南紀生物同好会会報 通巻第41号) 2002年9月

(〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部 522-2 乾風 登方 南紀生物同好会)

梅本信也・京都大学ポケットゼミ紀伊大島植物研究グループ・伊藤操子: 紀伊大島へのスイカズラ科ハクサンボクの人為移入と分布拡大 (1-5) / 北野一夫: 和歌山県の水田 (休耕田) で採集したトチカガミ科の植物 (10-13) / 道下雄大・梅本信也: センダングサ種子の風散布 (14) / 北野一夫: 和歌山県における野草採集記録 (1995.9~2002.1) (15-18) / 北野一夫: 有田地方全域に帰化したナルトサワギク (キク科) とその他の帰化植物について (23) / 久保田 信: 穂の中軸が二股に分かれた和歌山県白浜産のエノコログサ (イネ科) (29-31) / 後藤 伸: 中辺路町笠塔山の主要植物目録追補 (35-36)

○ 倉敷市立自然史博物館研究報告 第17号 2002年3月

(〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1 倉敷市立自然史博物館)

高橋和成・山本幸憲: 御嶽山の亜高山帯針葉樹林における変形菌類の季節的な発生と着生基物の特徴 (1-8) / 狩山俊悟・小島裕子・榎本 敬: 岡山県新産の帰化植物 (13) (11-13)

○ 岡山県自然保護センター研究報告 第10号 2002年12月

(〒709-0524 岡山県和気郡佐伯町田賀 730 岡山県自然保護センター)

高橋和成: 羅生門のアカマツ二次林における死木の腐朽段階に関係して発生する変形菌の動態 (25-34) / 西本 孝: 岡山県自然保護センターの湿生植物園の植生 5. 移植後 12年目の植生 (35-48)

- **比婆科学** 第206号 2002年11月
(〒727-0013 広島県庄原市西本町1丁目7-7 中村慎吾方 比婆科学教育振興会)
窪田雄一・窪田正彦：広島県植物誌資料(3)(37-43, 5 図版) / 桑田健吾：オオホナガアオゲイトウの続報(45) / 吉郷英範：安芸津町のウミヒルモ(48)
- **山口県植物研究会会報** Vol.2 No.9 2003年2月
(〒744-0002 山口県下松市上豊井万福寺 真崎 博方 山口県植物研究会)
三宅貞敏：奥阿武からスミレサイシンの記録(1) / 真崎 久：植物の分布報告(2) / 真崎 博：山口市のクモラン(2-3) / 真崎 博：山口県産高等植物についての新知見(3) / 末広雄次：山口県および霜降の植物 アジア各地の植物との対照(4-9) / 真崎 博(編)：荒倉山周辺の植物(9-14) / 真崎 博：徳山市産高等植物略目録(15-27)
- **徳島県立博物館研究報告** 第12号 2003年3月
(〒770-8070 徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館)
田淵武樹・小川 誠：徳島県におけるトサシモツケの分布(31-34)
- **愛媛県総合科学博物館研究報告** 第8号 2003年3月
(〒792-0060 愛媛県新居浜市大生院 2133-2 愛媛県総合科学博物館)
関川河口域生物調査グループ：愛媛県関川河口域生物調査(27-43) / 篠原功治：画像処理技術の植物プレパラート標本への応用(73-78)
- **宮崎県総合博物館研究報告** 第23輯 2002年3月
(〒880-0053 宮崎市神宮 2-4-4 宮崎県総合博物館)
斉藤政美：県内野生植物の開花期について(11-22)
- **BOTANY** No. 52 2002年12月
(〒860-0007 熊本市古京町 3-2 熊本博物館内 熊本記念植物採集会)
創立70周年記念講演—村田 源：地方植物研究会の役割と標本の意義(1-16) / 初島住彦・小林嘉光：最近天草で発見された新帰化植物(17-19) / 高野茂樹：天草下島・有明海沿岸(菊池川河口)の塩生湿地植生(20-28) / 中下雅子：秋津川のみズアオイ(29-34) / 高橋 泉：済州島・漢拏山の植物と自然を訪ねて(35-39)
- **鹿児島県立博物館研究報告** 第22号 2003年3月
(〒892-0853 鹿児島市城山町 1-1 鹿児島県立博物館)
森田康夫・丸野勝敏・廣森敏昭・行田義三・坂下泰典・中間 弘・山元幸夫・鯨島正道・溝口文男：宇治群島の自然調査報告(その2)(1-58) / 桑水流淳二・森田康夫・廣森敏昭・坂下泰典・山元幸夫・中間 弘・溝口文男：草垣群島上ノ島の自然調査概要報告(59-74) / 森田康夫・丸野勝敏：トカラ列島悪石島の植物採集記録(88-99) / 寺田仁志・今井宣広・川越良昭・讃岐 齊・篠崎チサ・瀬戸理仁・谷口明子・野間口 元・白山信一郎・別府優一郎・丸野勝敏・森田康夫・山田島崇文：天然記念物城山の植物相と植生(116-150)

(編集部 中田政司編)